

【作業療法科】 3つのポリシー

1. ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

当学科は、本学の建学の精神に則り、社会に貢献できる作業療法士を育成するところにあり、本学の学則に定めた所定の単位を修得し、次の能力を備えた学生の卒業を認定します。

- ① 作業療法士として社会で必要とされる知識・技能・思考力・判断力・情報収集能力を有し、医療・保健・福祉の分野から社会に貢献することができる。
- ② 作業療法士として対象者を傾聴・共感・理解する態度を有し、献身的・共感的に関わることができる姿勢を身につけている。
- ③ 医療専門職の一員として、対象者や他職種の立場を尊重し、多様な人々と主体性をもって協同できるコミュニケーション力、ディスカッション力を有し、自ら学び続ける姿勢と態度を身につけている。

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【教育内容（各学科・各科目の特徴）】

- ① 専門科目の基盤として人体の構造、機能、病態を理解する専門基礎科目を設け、作業療法士の国家資格の取得に必要な科目を1年次から系統的に配置する。
- ② 作業療法の臨床および研究活動に必要な知識、技術、問題解決能力を修得するため評価学・治療学等の専門科目を設ける。
- ③ 臨床に通じる専門的な技術・技能を身につけるため学内演習および学外臨床実習を配置します。

【授業方法（各学科・各科目の授業方法の特徴）】

- ① シラバスに授業目標、内容、方法及び評価方法を明確に示し、全ての授業科目に一般目標（GIO）と到達目標（SBOs）を定める。
- ② 講義、演習、を適切に組み合わせた授業方法で展開する。
- ③ 学生の主体的な学習を促すために、講義、実技、演習、グループワーク等の組み合わせを行い、アクティブラーニングの技法を用いて科目に適した授業形態を編成する。
- ④ 国家試験に向けたアクティブラーニング（グループ学習）を実施し、各年次で外部テストを用いた学習成果の確認を行う。

【学修成果の評価】

- ① 学園及び作業療法科の卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた知識・技術・態度の達成度を評価する。

- ② シラバスに明記された各授業科目の成績評価基準・方法にもとづき評価を行う。
- ③ 実習科目については、臨床実習を実施し目標到達度の把握・確認を行う。

3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針） ※学園共通

学校法人セムイ学園では、建学の理念に基づき豊かな人間性、高い倫理観、感謝の心を持つ人材の育成を目指しています。学科のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成するため、以下のような学生を受け入れます。入学選考は、様々な個性、能力等を有する人物を受け入れることができるよう、多様な選抜方法にて行います。

- ① 建学の理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人。
- ② 社会に役立つ知識・技術・態度を修得し、社会に奉仕しようという意欲のある人。
- ③ 入学後の学びに必要な基礎学力を有する人。
- ④ 協調性や基礎的なコミュニケーション能力を有する人。